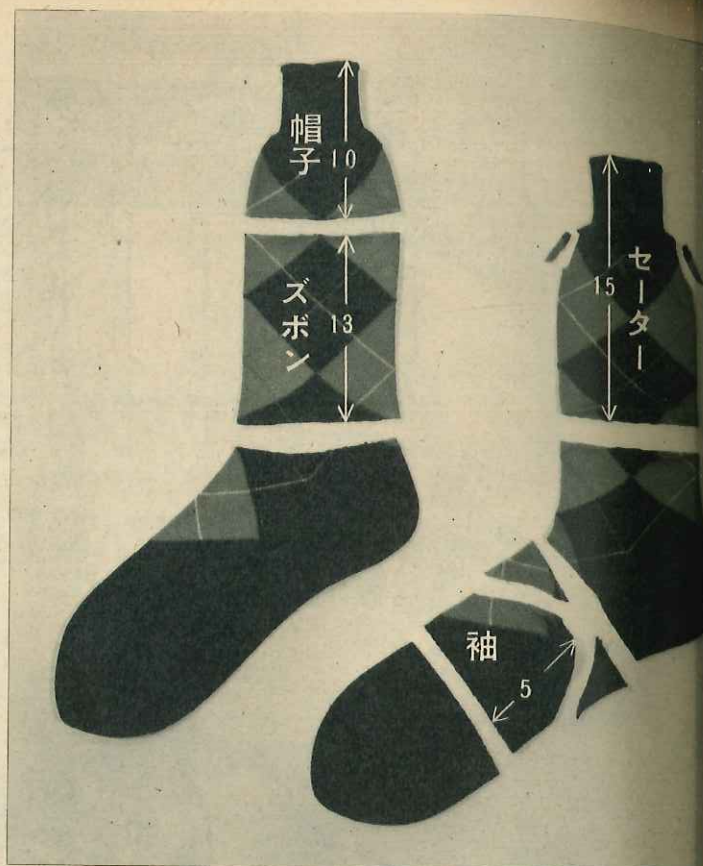




靴下でつくる 人形の着るもの

このころ、町では、お人形に着せる服まで、飾窓にならぶようになりました。見るからに可愛いものです。が、ねだんをみると、びっくりします。生きたコドモの服が買えそうな金額です。お手製で作りましょう。ここでご紹介するのは、材料は、いたんだソックス、手縫いで三十分もあればできるといふ、帽子とセーターと半ズボンの一組です



とり方

材料は古くなったお父さまの靴下一足分です。たいていカカトと爪先は穴があいたり、うすくなっていますから、よけて成ります。片足からセーターと袖、もう片方から、帽子とズボンをとります。セーターの袖ぐりはゴムの下のところから3センチほどかきます。この人形は丈は30センチから35センチぐらいです。小さかったり、大きいときは、残り布をハグなり、縫い込みを多くして下さい。

帽子

ゴムの入った部分を下にしてフチにします。裁ち目から1センチ入ったところをぐるっと縫って糸をしぼります。全部ギュッと締めないで指が一本入るぐらいにして結びます。毛糸玉でもつけてあげて下さい。



セーターとズボン

布地がメリヤスで、このノビチザミを充分に生かしているので、ひっぱったときに糸の切れないうちに、ゆるめに縫って下さい。全部縫い代は5ミリぐらいソテ下を縫って、ソテ口を折ってくけます。セーターはスソを折り上げて縫い、ソテをつけます。ソテつけは身頃を引っぱり加減にしてつけます。つぎはズボンです。マタ下を1センチほど、まっすぐに切り込んで、ぐるっと縫って、スソと、胴まわりを折りまげます。

